

事例 9：スロープに設置した支保工が崩落し作業員が宙づり

施工

土木・建設工事

墜落・転落

スロープ上部のコンクリートを打設しようとしていた。その際、支保工の接地部分が横滑りしたため、上部の型枠が崩壊し型枠の上で作業員が宙づりとなった。幸い、完全崩落に至らず、作業員にけがはなかった。

原因

- 支保工の設置検討が不十分

結果：ヒヤリ・ハット

- 作業員が宙づりとなった。
(幸いけがはなかった。)

教訓

- 支保工の固定及び支保工同士のつなぎを十分に行う。

行動

- 支保工の接地部分が横滑りし、上部の型枠が崩壊

